

[イヌとカヤックに乗ろう](#)[航海日誌](#)[Kayaks](#)[Kayak Dogへの道](#)[Kayak Dogs](#)

Kayak Dog

[Home](#) ▶ [工房 "KAYAK9"](#) ▶ [Wood Duck 12の製作](#) ▶ (15) 進水前の作業

(15) 進水前の作業

2011年 11月 05日(土曜日) 16:02 | Author: サセックス卿 | [📄](#) [📁](#) [✉](#)

完成前に進水させちゃうことにしたので、それまでにやっておかなきゃいけない作業がいくつか。まず工房ドアからカヤックをそろそろと出し、玄関先まで運びます。ふーむ、船全体をこうしてしげしげ見たのは初めてだなあ。ツンと尖ったパウとスターンがなかなか魅力的。オーバーハングはほとんどなく、12フィートの全長いっぱいの喫水線長があります。外に出すと意外と小振りに見えます。



すでに夜になっていますが、パウを下にして船を立て2階ベランダデッキに固定します。コックピットに潜り込み、懐中電灯で照らしながらパウにエポキシを流し込み「エンドポー」を作ります。パウの補強になると同時にクリートやパッドアイなどビスを固定するための下地を作るためです。

メインメニュー

[Home](#)[工房 "KAYAK9"](#)[Wood Duck 12の製作](#)[カヤック製作準備](#)[アトリエ](#)[情報源](#)[アマゾン号に乗りたい!](#)[コンタクト](#)[プロフィール](#)[ブログフィード](#)[Links](#)



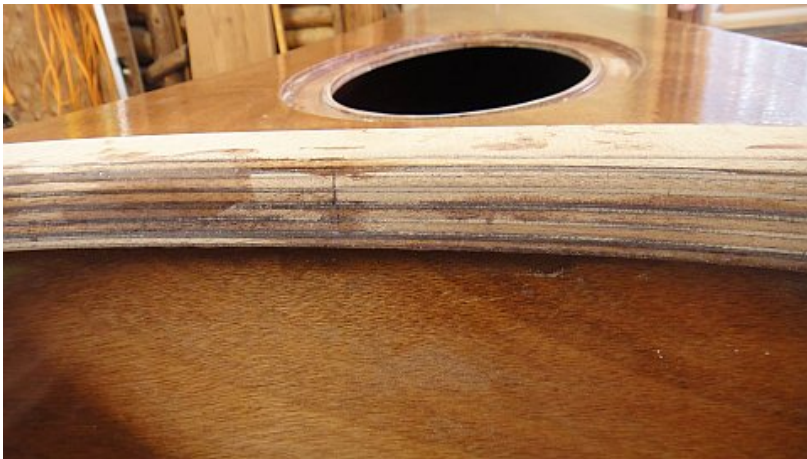
180mlのエポキシを2回注ぎ込みましたが、パウをのぞき込んでみるとフラッシュ光を反射してエポキシが光っています。狭い空間に多量のエポキシがあるので、相当ヒートアップしました。



船を工房へ戻して、お次はコックピット・コーミングの仕上げです。3枚目となる4mm合板を一番上に接着し、船体との間にできたスペースに防水と補強のためにフィレットイングを施します。指一本がようやく入るかという隙間なのでどうやったものか悩みましたが、船を横倒しにしてからエポキシ・パテを絞り出し、指で二つ折りにしたシリコン板で一気に整形していきました。



コーミング内側をサンディングした後、上部エッジをトリマーを使い丸く面取りしました。4層の合板が積層されているのが良く分かります。



コーミングをエポキシでコーティングし、デッキ蓋のコーティングを終えるとニス塗り前のエポキシ作業はすべて終了です。進水式には船を運ばなきゃいけないので、持ち手は欠かせません。スターンにはパッドアイをボルト固定することにして、デッキ裏に当て木（これもエポキシでコート）をつけます。ハッチから手を伸ばして作業するしか方法がないので、ボルトを通すのはやっかいな作業でした（デッキ製作時にあらかじめ付けておくべきでした）。真鍮製（できればブロンズ製）のパッドアイにしようかと思いましたが、二つ穴しか見つからなかったし、真鍮ビスでは強度が不安なので、ステンレス製のヨット用品を流用です。ボルト穴は、合板に大きめの穴を開けてからエポキシ接着剤でふさぎ、再度ドリルで穴を開け（drill-fill-drill）浸水を防ぎます。



デッキ面をフラッシュに仕上げたかったので、パウの持ち手は船体に通すことにし、思い切ってパウに10mmの穴を開けました。硬化したエポキシ屑が大量に出てきました。



持ち手は（乗っているsit-on-topカヤックと同じなのは避けたくて）シートを結んで作ることにし、6mmのシートをdouble fisherman's knotで結びました。



さぁ完成（仮にね）。ここまでで重量は**17.2kg**でした。明日は進水式です。
おっと、取り敢えずのクッション・シートを作って接着しておかなくちゃ・・・

最終更新 (2011年 11月 06日(日曜日) 11:02)

© 2009 [KayakDog](#)
All Rights Reserved.

powered by Joomla
free templates by Deposit Poker & Unlimited Web Hosting